

## 「御霊の実⑥ 善意」

コロサイ 1:9～12

2016.02.14 Alex Tan

1

### 概観

パウロの獄中書簡の一つで、若い信者のために祈りをささげている。父なる神様の善意(Goodness)、そして良い実を結ぶことについて教えている。

### アウトライン

1. 神様の良い人格: 父性と寛大さ V9
2. 神様の良い御心: 聖い生活と善行の実 V10
3. 神様の良い方法: 試練と人間 V11
4. 適用: 感謝をささげる V12

2

### 1. 神様の良い人格: 父性と寛大さ V9

- 1) 霊的な知恵と理解力: 善悪を識別するのに必要。聖霊の照明。真の知識＝主を恐れる。
- 2) 神様との関係＝父親と子供。神の子としてのIDを確立させる。父性愛は時に懲らしめる(箴言 3:11-12、ヘブル 12:7-11)。地上の父親と混同してはいけない。
- 3) 神様は寛大で、すべてのことに満ち足りるように、良いわざにあふれる者とするために、恵みをあふれるばかりに与えて下さる(IIコリント 9:8)。ケチな神様ではない。

3

### 2. 神様の良い御心: 聖い生活と善行の実 V10

- 1) 神様の御心は社会のモラルや習慣に頼るのではなく、主にかなった聖い生活(gospel lifestyle)をし、善行の実を結ぶことである。
- 2) 地の塩、世の光として(マタイ 5:13-14)。腐敗を阻止し、暗闇に光を照らす働き。価値観の変化、違いが見えないといけない。
- 3) 私たちは良い行いをするために創られた(エペソ 2:10)。すばらしい実を結ぶことにより、栽培者がほめたたえられる。神様の御心は教会を通して世界を変えていきたい。

4

### 3. 神様の良い方法: 試練と人間 V11

- 1) 自力で頑張る⇔神様の権能に従う。世の価値観と反対で、無力さを認めることがカギ。良い実を結ぶ方法: トンネルとトンチンカン。
- 2) 忍耐(トンネル): 目の前に広がっている走路を走りぬく資質。忍耐の目的は、品性と希望を生み出すため(ローマ 5:3-4)。
- 3) 寛容(トンチンカン): 見当違い、理に合わない、食い違っている人に挑発や敵対せず、平和に過ごす資質。波長(考え)と歩調(歩み)が合ってくるプロセスと一緒に歩む。

5

### 4. 適用: 感謝をささげる V12

#### ① 御国を相続する資格を感謝する

ほかのクリスチャンと一緒に神の家族となり、一緒に御国を相続できる(エペソ 2:19)。その資格がなかったのに、恵みとして与えられた。

#### ② 数えきれない神様の恵みを感謝する

神様を知ることにより、もっと神様の人格、タイミング、方法が分かってくる。どんな時でも神様は良いお方で、私たちは良い実を結ぶように召されている。詩篇103篇は神様の恵みがたくさん書き記されている。

6